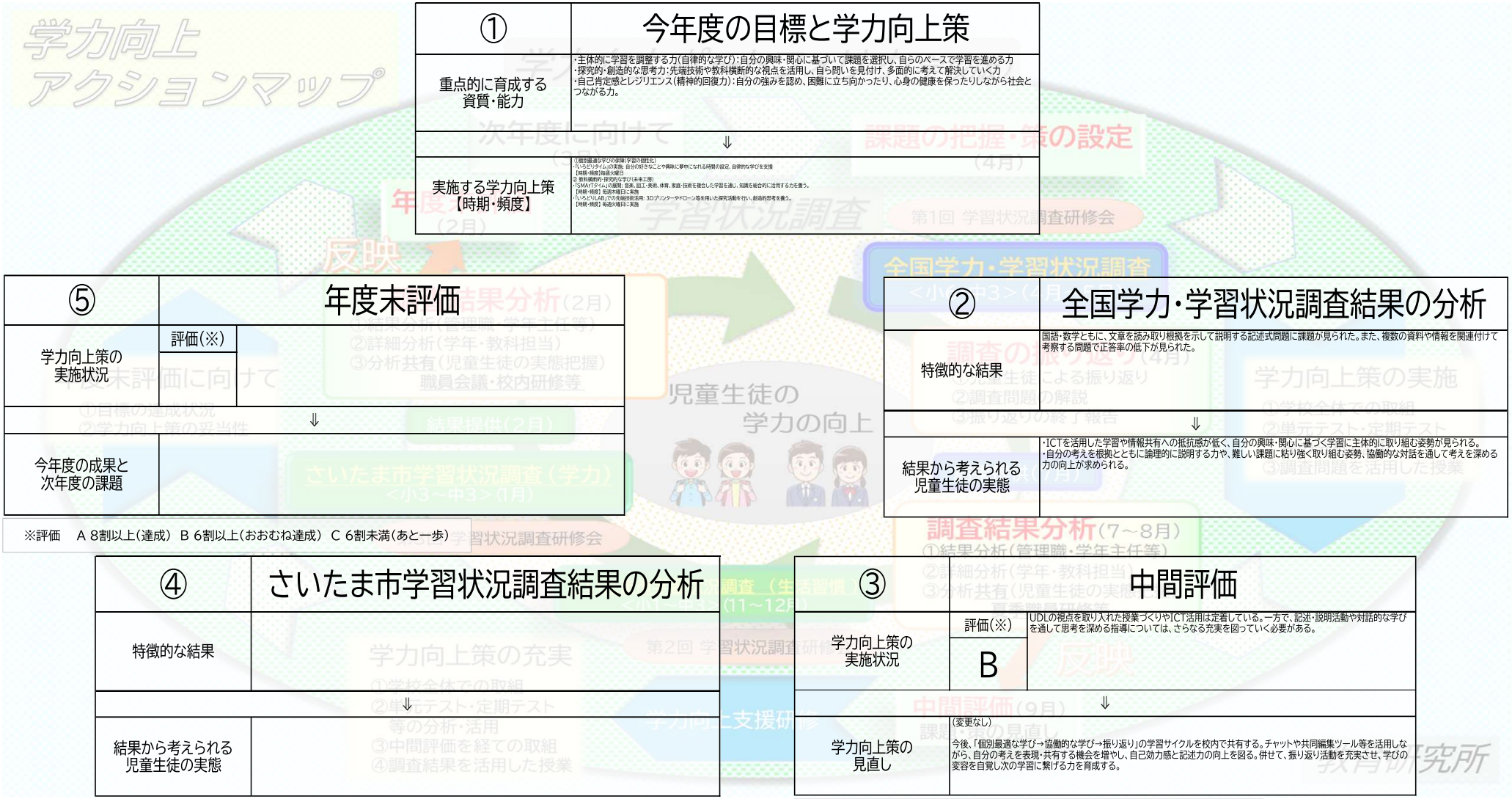
# 令和8年度版「学力向上ポートフォリオ（学校版）」【いろどり学園中学部】




| ① | 今年度の目標と学力向上策 |
|---|---|
| 重点的に育成する資質・能力 | ・主体的に学習を調整する力（自律的な学び）：自分の興味・関心に基づいて課題を選択し、自らのペースで学習を進める力<br>・探究的・創造的な思考力：先端技術や教科横断的な視点を活用し、自ら問いを見付け、多面的に考えて解決していく力<br>・自己肯定感とレジリエンス（精神的回復力）：自分の強みを認め、困難に立ち向かったり、心身の健康を保ったりしながら社会とつながる力。 |
| ⇓ | |
| 実施する学力向上策【時期・頻度】 | ①個別最適な学びの充実（学習の個性化）<br>・いろどりタイムの実施：自分の好きなことや興味に夢中になれる時間の設定、自律的な学びを支援<br>【時期・頻度】毎週火曜日<br>②教科横断的・探究的な学び（未来工房）<br>・STEAMライムの編成：音楽、図工・美術、体育、家庭・技術を複合した学習を通し、知識を総合的に活用する力を養う。<br>【時期・頻度】毎週木曜日に実施<br>・いろどりLAB（ラボ）の先端技術活用：3Dプリンターやドローン等を用いた探究活動を行い、創造的思考を養う。<br>【時期・頻度】毎週火曜日に実施 |

| ⑤ | 年度末評価 | |
|---|---|---|
| 学力向上策の実施状況 | 評価（※） | |
| ⇓ | | |
| 今年度の成果と次年度の課題 | | |

※評価　A 8割以上（達成）　B 6割以上（おおむね達成）　C 6割未満（あと一歩）

| ② | 全国学力・学習状況調査結果の分析 |
|---|---|
| 特徴的な結果 | 国語・数学ともに、文章を読み取り根拠を示して説明する記述式問題に課題が見られた。また、複数の資料や情報を関連付けて考察する問題で正答率の低下が見られた。 |
| ⇓ | |
| 結果から考えられる児童生徒の実態 | ・ICTを活用した学習や情報共有への抵抗感が低く、自分の興味・関心に基づく学習に主体的に取り組む姿勢が見られる。<br>・自分の考えを根拠とともに論理的に説明する力や、難しい課題に粘り強く取り組む姿勢、協働的な対話を通して考えを深める力の向上が求められる。 |

| ④ | さいたま市学習状況調査結果の分析 |
|---|---|
| 特徴的な結果 | |
| ⇓ | |
| 結果から考えられる児童生徒の実態 | |

| ③ | 中間評価 | |
|---|---|---|
| 学力向上策の実施状況 | 評価（※）<br>B | UDLの視点を取り入れた授業づくりやICT活用は定着している。一方で、記述・説明活動や対話的な学びを通して思考を深める指導については、さらなる充実を図っていく必要がある。 |
| ⇓ | | |
| 学力向上策の見直し | （変更なし）<br>今後、「個別最適な学び→協働的な学び→振り返り」の学習サイクルを校内で共有する。チャットや共同編集ツール等を活用しながら、自分の考えを表現・共有する機会を増やし、自己効力感と記述力の向上を図る。併せて、振り返り活動を充実させ、学びの変容を自覚し次の学習に繋げる力を育成する。 | |

※評価　A 8割以上（達成）　B 6割以上（おおむね達成）　C 6割未満（あと一歩）